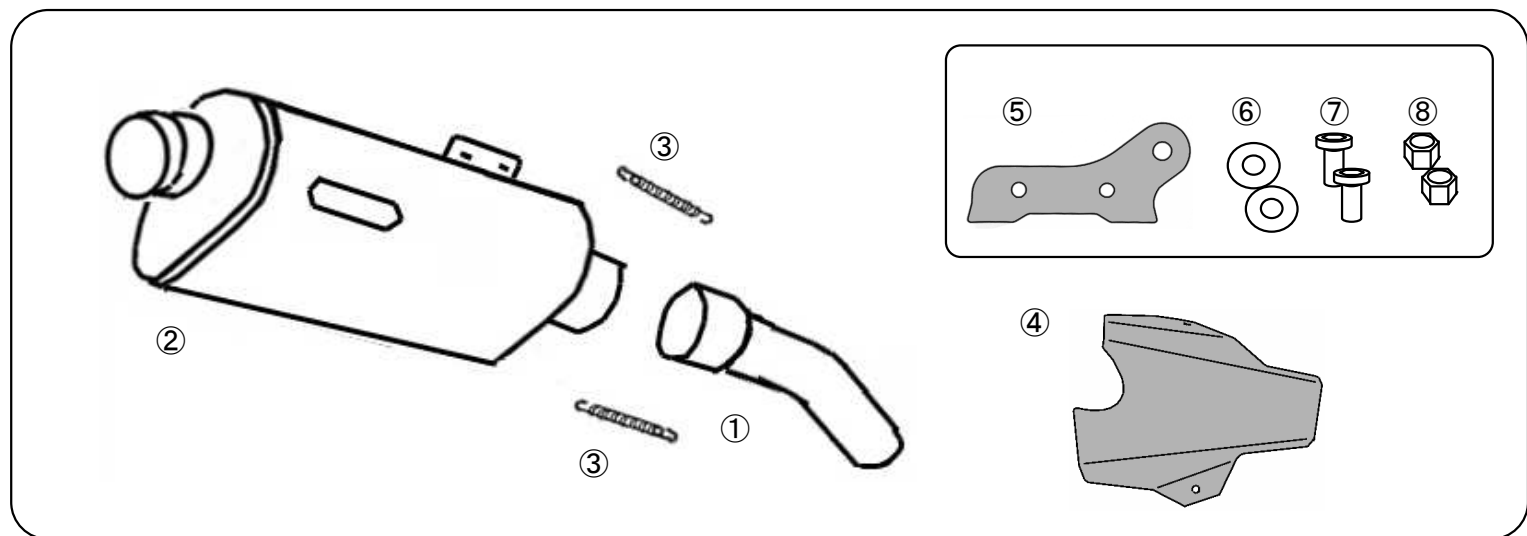


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

取付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。

作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。このマフラーは、YZF-R25/ABS/MT-25(型式JBK-RG10J及び2BK-RG43J)・YZF-R3/MT-03(型式EBL-RH07J及び2BL-RH13J)用となっております。その他の機種には適合しませんのでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



### 1) 純正マフラーの取り外し

メーカーのサービスマニュアルを参照して純正サイレンサー及び純正カバー(純正名称プロテクタエキゾーストパイプ)を取り外します。取り外しの際のボルト類はノジママフラーを取り付けるときに使用しますので無くさないように注意して下さい。

### 2) マフラステープレートの取り付け

⑥ワッシャー・⑦キャップボルト・⑧Uナットを用いて、⑤マフラステープレートをサイレンサーに取り付けます。(右下図参照)

### 3) マフラーの取り付け

(1)①テールパイプを純正集合部に取り付けます。この時点ではクランプバンドは多少テールパイプが動く程度に仮締めしておきます。

※ジョイントガスケット(純正品番:54D-E4714-00)は、脱着毎の交換を推奨致します。

(2)①テールパイプに②サイレンサーを差し込み、純正ボルト・ワッシャー・ナットを用いてタンデムステップ部に仮組みします。テールパイプとサイレンサーの位置関係は、それぞれのスプリングフックの位置を参考にして下さい。最後にスプリングを掛けます。

### パーツリスト(梱包内容)

	パーツ名	数量
①	テールパイプ	1
②	サイレンサー	1
③	スプリング	2
④	マフラーカバー	1
⑤	マフラステープレート	1
⑥	ワッシャー M6	2
⑦	ボタンキャップボルトM6-12	2
⑧	Uナット M6	2



※スプリングを掛ける際、ラジオペンチ等を使用するとスプリングに傷が入り、スプリングが折れる原因になります。スプリングフックを使用して作業する事をお勧めします  
※各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を用いる事をお勧めします。

#### 4) マフラーカバーの取り付け

④マフラーカバーを純正カバーと共締めする要領で純正集合部に純正ボルトで仮組みします。マフラーカバーとテールパイプのクリアランスを確認し、必要があればテールパイプとサイレンサーの位置関係を修正して下さい。各部に干渉の無い事が確認できたら、一度カバーを外し、テールパイプのクランプバンド及びサイレンサー取り付け部のボルトナットを本締めし、再度カバーを取り付けます。



#### 5) 最終確認

以上でマフラー取り付け作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認。必要があれば修正を行って下さい。マフラーが車体ルに干渉していない事を再度確認して下さい。

※エキパイにグリスや手の脂等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。十分脱脂を行って下さい。

#### 6) セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態での性能を発揮するように設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(よりきめ細かくセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)

※定期的にボルト・ナット等の緩みがない事を確認し、必要があれば増し締めを行ってください。

- グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合があります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブラせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発→排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)
- グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。
- シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。
- 本製品はJMCAの認定を受けた政府認証マフラーです。
- 転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。
- その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

製造元 株式会社 野島エンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL 059-378-3505 FAX 059-370-7811